

豊島

高等学校

令和8年度（1学年用）教科

国語

科目

現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2

単位

対象学年組：第1学年1組～8組

使用教科書：（ちくま現代の国語（筑摩書房）、ちくま言語文化（ちくま書房））

教科国語の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 第1章 問うこと、語ること サイエンスの視点、アートの視点（齋藤亜矢） 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の部分と全体の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を身に付ける。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の読解を通して、物事の探究的な見方について考える。	・サイエンスとアートの共通する視点を踏まえて文章の主題を把握する。			○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	6
	B 第2章 ことばは世界をつくる 羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の読解を通して、人物の心情の変化や文章の表現に興味を持つ。	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。			○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 第6章 前提を疑う 失われた阿陀（清岡卓行） 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩・例示・言い換えなどの修辞や、逆説などの抽象的な表現を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を身に付ける。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の読解を通して、抽象的な表現が示す内容について考える。	・先入観にとらわれずに筆者の主張をとらえ、美術作品への評価を理解する。			○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	5

2 学 期	D 第2章 ことばは世界をつくることばとは何か（内田樹）	・具体例をもとに言語の抽象的な概念の認識を深め、言語経験を豊かにする。				○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	5
	定期考査							○	○		1
	E 第8章 深層を探ることば 夢十夜（夏目漱石）	・「夢」という非日常性をもった世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。				○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	8
	F 第8章 深層を探ることば 身体、この遠きもの（鷗外清一）	・身体という物体の特殊なあり方を日常の具体的な事例をもとに理解する。				○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	6
2 学 期	定期考査							○	○		1
	G 第3章 主張を読み取る 開かれた文化（岡真理）	・「文化相対主義」という観点を踏まえて文化の違いについて自己と他者をまなざす態度を磨く。				○	【知識及び技能】 ・小テスト、定期考査での得点状況 ・授業時のワークシート取り組み状況 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業時のワークシート取り組み状況 ・話し合い活動の記録状況 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業への参加状況 ・課題への取り組み状況	○	○	○	5

3 学 期	H1 第6章 前提を疑う 魔術化する科学技術（若杉幹夫）	・ 価値中立的な科学の知が、技術と結びついた時にどのような影響を社会に及ぼすかを考える。			○	【知識及び技能】 ・ 小テスト、定期考査での得点状況 ・ 授業時のワークシート取り組み状況	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業時のワークシート取り組み状況 ・ 話し合い活動の記録状況	【学びに向かう力、人間性等】 ・ 授業への参加状況 ・ 課題への取り組み状況	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	1 第6章 前提を疑う マルジャーナの知恵（若井克人）	・ 資本主義についての理解を深め、情報社会である現代の様相について考える。			○	【知識及び技能】 ・ 小テスト、定期考査での得点状況 ・ 授業時のワークシート取り組み状況	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業時のワークシート取り組み状況 ・ 話し合い活動の記録状況	【学びに向かう力、人間性等】 ・ 授業への参加状況 ・ 課題への取り組み状況	○	○	○	5
	J 第9章 情報と社会 来たるべき民主主義（國功一郎）	・ 政治について他者の論を援用しながら、自己の論を展開する。			○	【知識及び技能】 ・ 小テスト、定期考査での得点状況 ・ 授業時のワークシート取り組み状況	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業時のワークシート取り組み状況 ・ 話し合い活動の記録状況	【学びに向かう力、人間性等】 ・ 授業への参加状況 ・ 課題への取り組み状況	○	○	○	6
K 第13章 日本語の変遷 近代後の成立を知る 余が言文一致の由来（二葉亭四迷）	・ 複数の視点からの主張を比較・整理して理解する。 ・ 言文一致運動にかかる文章を現代の言葉を使って表現する。			○	○	【知識及び技能】 ・ 小テスト、定期考査での得点状況 ・ 授業時のワークシート取り組み状況	【思考力、判断力、表現力等】 ・ 授業時のワークシート取り組み状況 ・ 話し合い活動の記録状況	【学びに向かう力、人間性等】 ・ 授業への参加状況 ・ 課題への取り組み状況	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
合計												70